

第2章 保健医療の現状

1 人口等の状況

(1)人口

- ・本県の人口は、令和2年国勢調査によると1,334,841人（前回平成27年から50,421人減少）となっています。
- ・過去の国勢調査から見ると、本県の人口は、昭和60年の1,529,983人をピークに減少を続け令和2年までの間に12.8%の減少となっています。
- ・圏域別に増減率を見ると、全ての圏域において人口が減少しており、宇和島圏域の減少率が最も大きくなっています。
- ・令和2年の人口を3区分の年齢構造で見ると、0～14歳の年少人口が153,764人、15～64歳の生産年齢人口が711,738人、65歳以上の高齢者人口が434,279人となっています。（35,060人は年齢不詳）
- ・県人口（年齢不詳除く）に占める割合は、年少人口が11.8%（全国12.1%）、生産年齢人口が54.8%（59.2%）、高齢者人口が33.4%（28.7%）となっており、全国の状況と比べると、高齢者人口の割合は全国を上回り、年少人口と生産年齢人口の割合は全国を下回っています。
- ・圏域別に高齢化率を見ると、宇和島圏域が42.0%と最も高く、次いで八幡浜・大洲圏域の41.2%となっており、南予地域では、高齢者の割合が40%を超えています。

〔年齢3区分別人口の推移〕

（単位：人、()内は%）

区 分		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	全国	125,570,246 (100.0)	126,925,843 (100.0)	127,767,994 (100.0)	128,057,352 (100.0)	127,094,745 (100.0)	126,146,099 (100.0)
	愛媛県	1,506,700 (100.0)	1,493,092 (100.0)	1,467,815 (100.0)	1,431,493 (100.0)	1,385,262 (100.0)	1,334,841 (100.0)
0～14歳 (年少人口)	全国	20,013,730 (15.9)	18,472,499 (14.6)	17,521,234 (13.7)	16,803,444 (13.2)	15,886,810 (12.6)	14,955,692 (12.1)
	愛媛県	245,563 (16.3)	219,340 (14.7)	200,270 (13.6)	185,179 (13.0)	169,110 (12.4)	153,764 (11.8)
15～64歳 (生産年齢人口)	全国	87,164,721 (69.4)	86,219,631 (67.9)	84,092,414 (65.8)	81,031,800 (63.8)	76,288,736 (60.7)	72,922,764 (59.2)
	愛媛県	982,400 (65.2)	953,189 (63.8)	914,747 (62.3)	858,991 (60.4)	776,111 (57.0)	711,738 (54.8)
65歳以上 (高齢者人口)	全国	18,260,822 (14.5)	22,005,152 (17.3)	25,672,005 (20.1)	29,245,685 (23.0)	33,465,441 (26.6)	35,335,805 (28.7)
	愛媛県	278,691 (18.5)	320,078 (21.4)	351,990 (24.0)	378,591 (26.6)	417,186 (30.6)	434,279 (33.4)

（国勢調査）

〔圏域別高齢者人口及び年少人口の推移〕

(単位：%)

		愛媛県	宇摩	新居浜 ・西条	今治	松山	八幡浜 ・大洲	宇和島
高齢者人口 割合	令和2年	33.4	34.3	32.9	36.3	29.6	41.2	42.0
	平成27年	30.6	30.2	30.7	33.8	26.9	37.7	37.8
	平成22年	26.6	26.1	27.0	29.1	23.0	33.7	32.6
	平成17年	24.0	23.6	24.7	25.9	20.2	31.3	29.6
	平成12年	21.4	21.3	22.3	23.0	17.9	27.9	26.1
	平成7年	18.5	18.2	19.2	20.0	15.4	24.0	22.2
年少人口 割合	令和2年	11.8	11.4	12.5	11.1	12.6	10.3	9.6
	平成27年	12.4	12.4	13.1	11.8	13.0	11.0	10.7
	平成22年	13.0	13.2	13.7	12.3	13.5	11.8	11.7
	平成17年	13.6	14.1	14.0	13.0	14.0	12.9	12.9
	平成12年	14.7	15.5	14.8	13.7	15.0	14.3	14.2
	平成7年	16.3	17.2	16.1	15.4	16.6	16.3	16.1

(国勢調査)

- ・総人口及び生産年齢人口(15歳～64歳)は年々減少する見通しとなっており、高齢者人口(65歳以上)は令和7年頃がピークとなる見込みです。

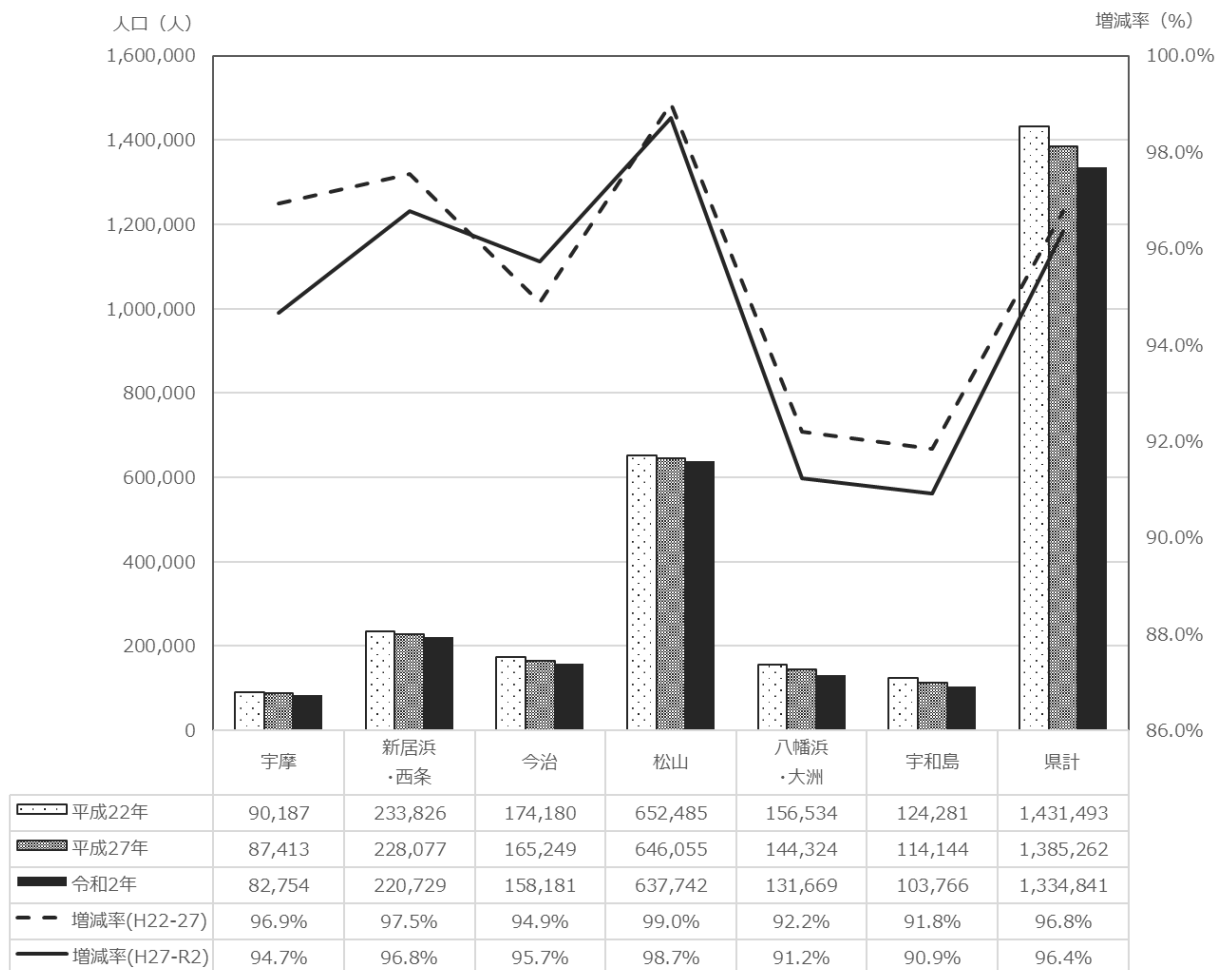
〔人口の見通し〕

(単位：人)

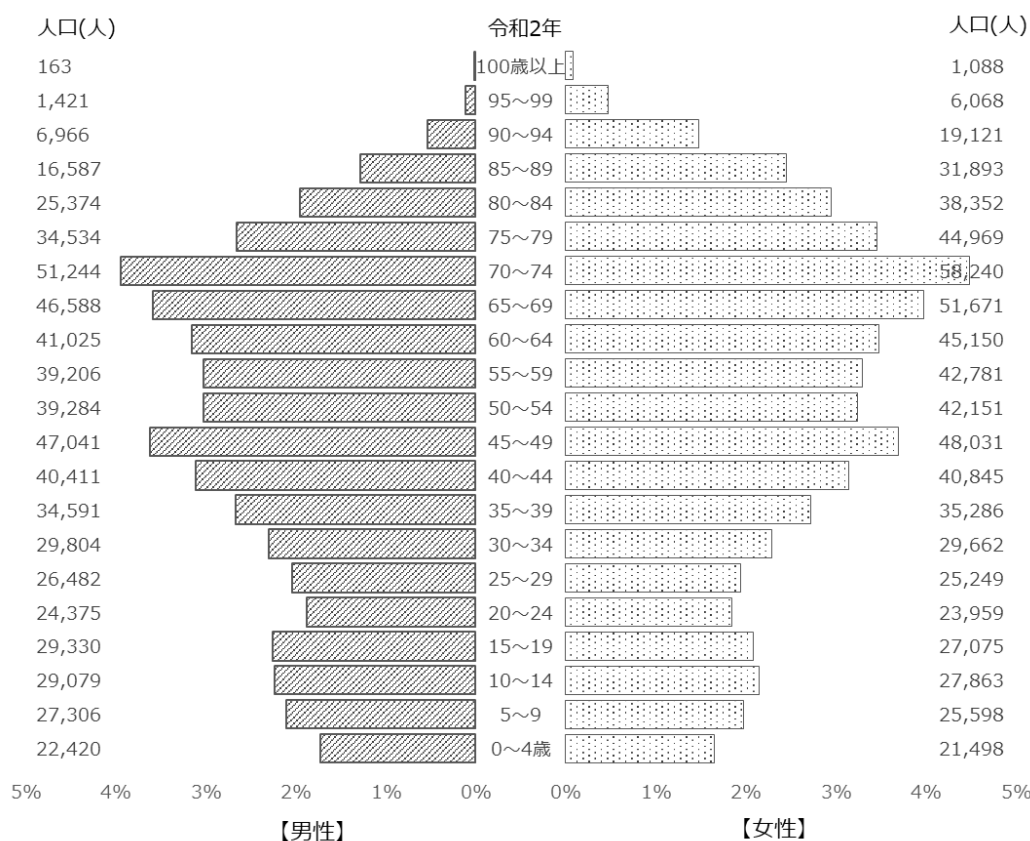
	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
総人口	1,274,128	1,212,388	1,148,113	1,080,610	1,012,995
15歳～64歳(生産年齢人口)	685,299	642,775	599,283	539,391	491,642
65歳以上(高齢者人口)	446,289	439,957	430,787	431,942	420,146

(国立人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成30年推計(出生中位・死亡中位))

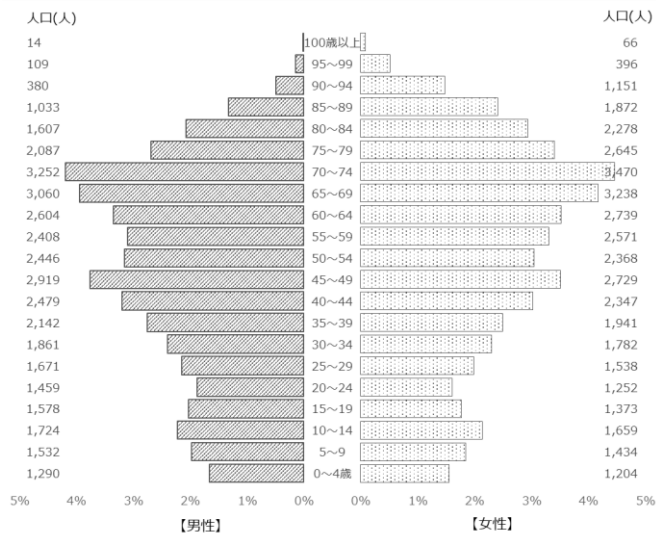
〔国勢調査年人口と増減率(圏域別)〕



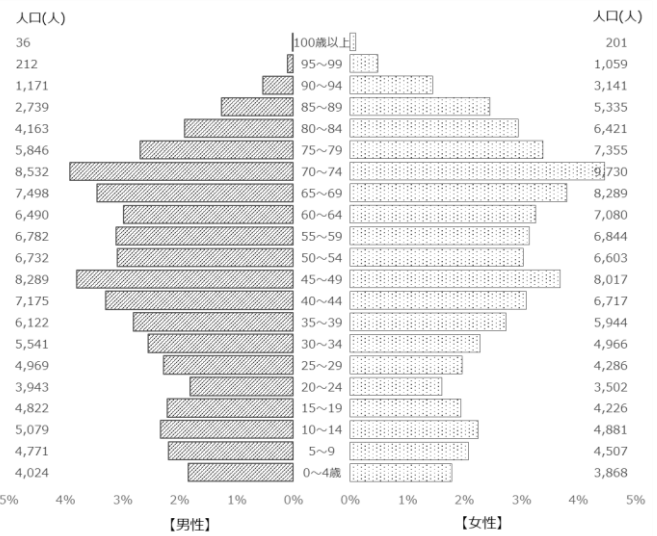
〔5歳階級別人口構成(愛媛県)〕



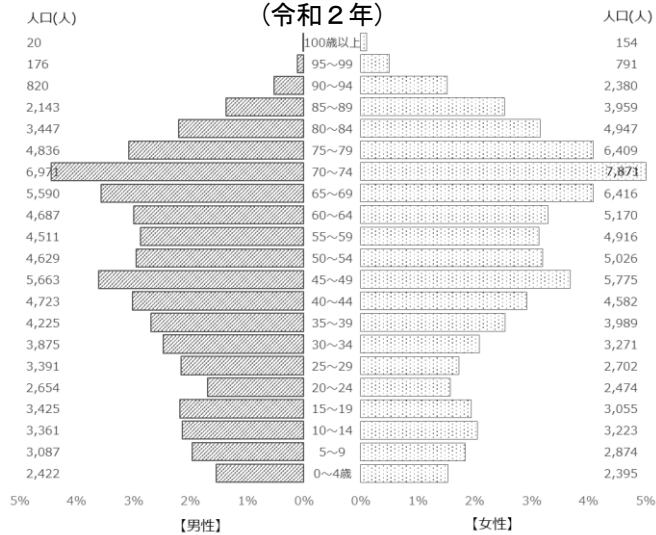
〔年齢階級別人口構成（圏域別）〕
【宇摩圏域】
(令和2年)



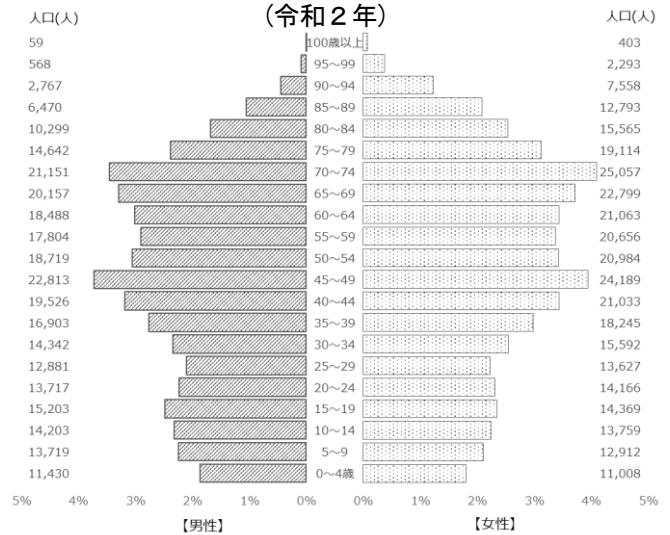
【新居浜・西条圏域】
(令和2年)



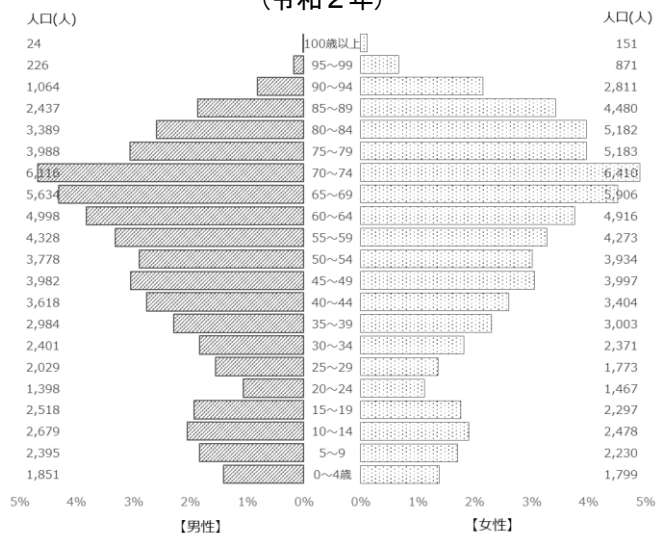
【今治圏域】
(令和2年)



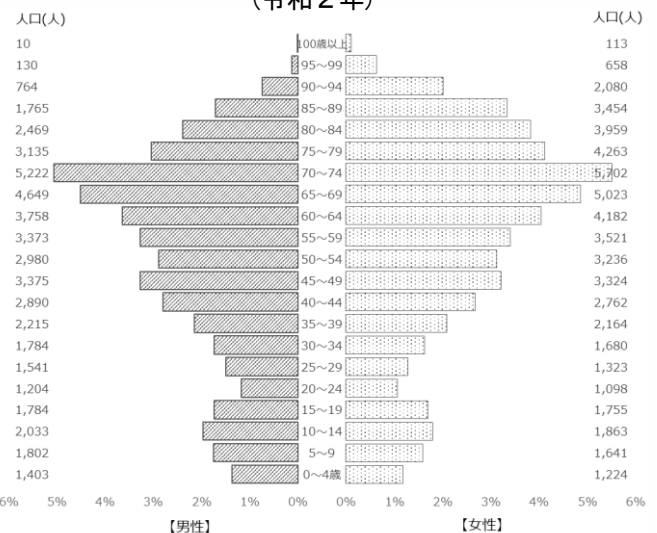
【松山圏域】
(令和2年)



【八幡浜・大洲圏域】
(令和2年)



【宇和島圏域】
(令和2年)



(2) 出生

- ・出生数は、平成28年以降、減少が続いています。
- ・出生率（人口千対）も減少が続いており、令和4年は5.9と、全国の6.3を下回っています。
- ・合計特殊出生率も減少が続いていますが、令和4年は1.39と、全国の1.26を上回っています。
- ・平成28年と令和4年の出生率を圏域別に見ると、全ての圏域で減少しています。

〔出生の年次推移〕

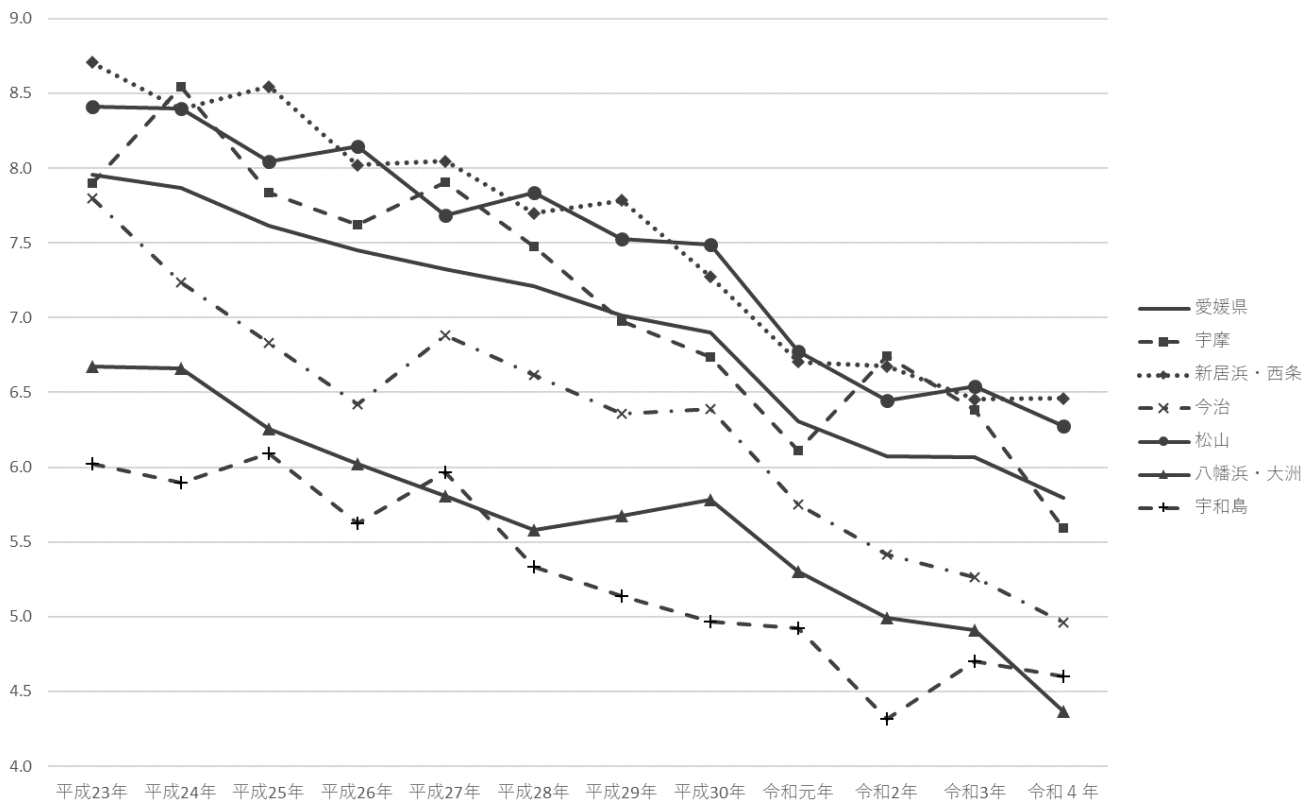
（単位：「出生数」…人、「出生率」…人口千対）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出生数（愛媛県）	9,911	9,569	9,330	8,446	8,102	8,011	7,572
出生数（全 国）	977,242	946,146	918,400	865,239	840,835	811,622	770,759
出生率（愛媛県）	7.3	7.1	7.0	6.4	6.1	6.1	5.9
〃（全 国）	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6	6.3
合計特殊出生率（愛媛県）	1.54	1.54	1.55	1.46	1.40	1.40	1.39
〃（全 国）	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26

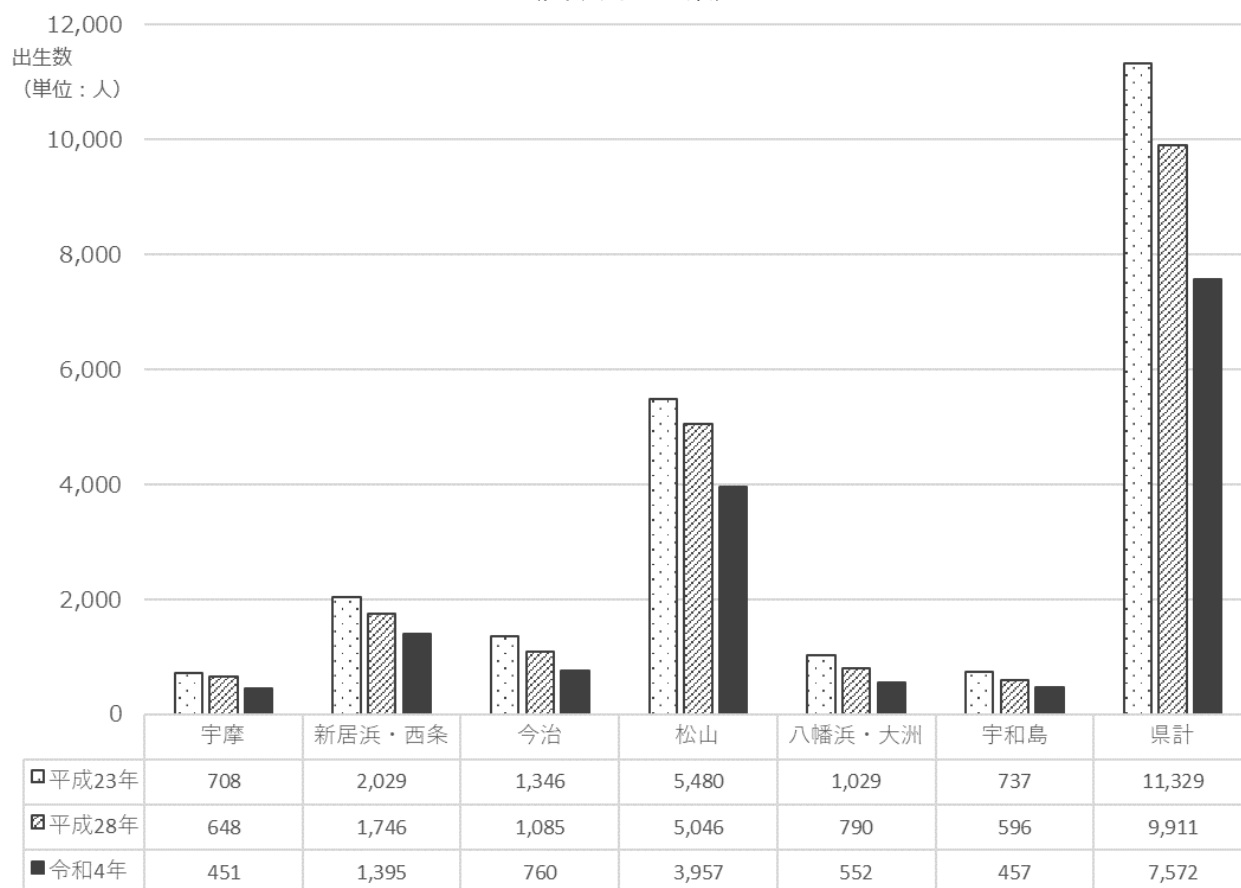
（人口動態調査）

（合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産むとしたときの子供の数に相当）

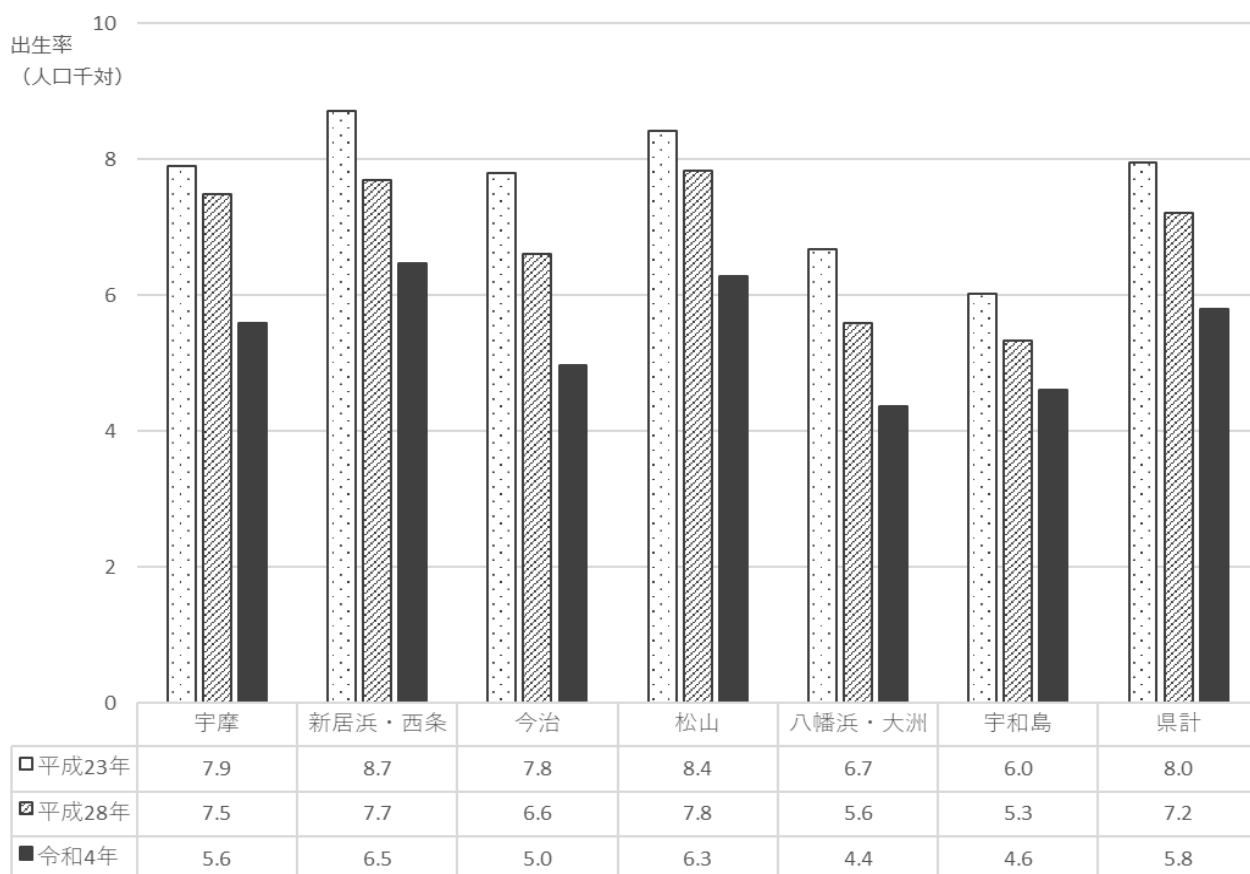
〔圏域別出生率（人口千対）〕



〔圏域別出生数〕



〔圏域別出生率〕



(3) 死亡

- ・令和4年の死亡数は、19,993人で、平成29年に比べ1,844人増加しています。
- ・死亡率（人口千対）は15.3で、全国の12.9を上回っていますが、これは本県の年齢構成が全国より高齢化していることが影響しているものと考えられます。
- ・圏域別に見ると、松山圏域が13.0で最も低く、宇和島圏域が21.8で最も高くなっています。

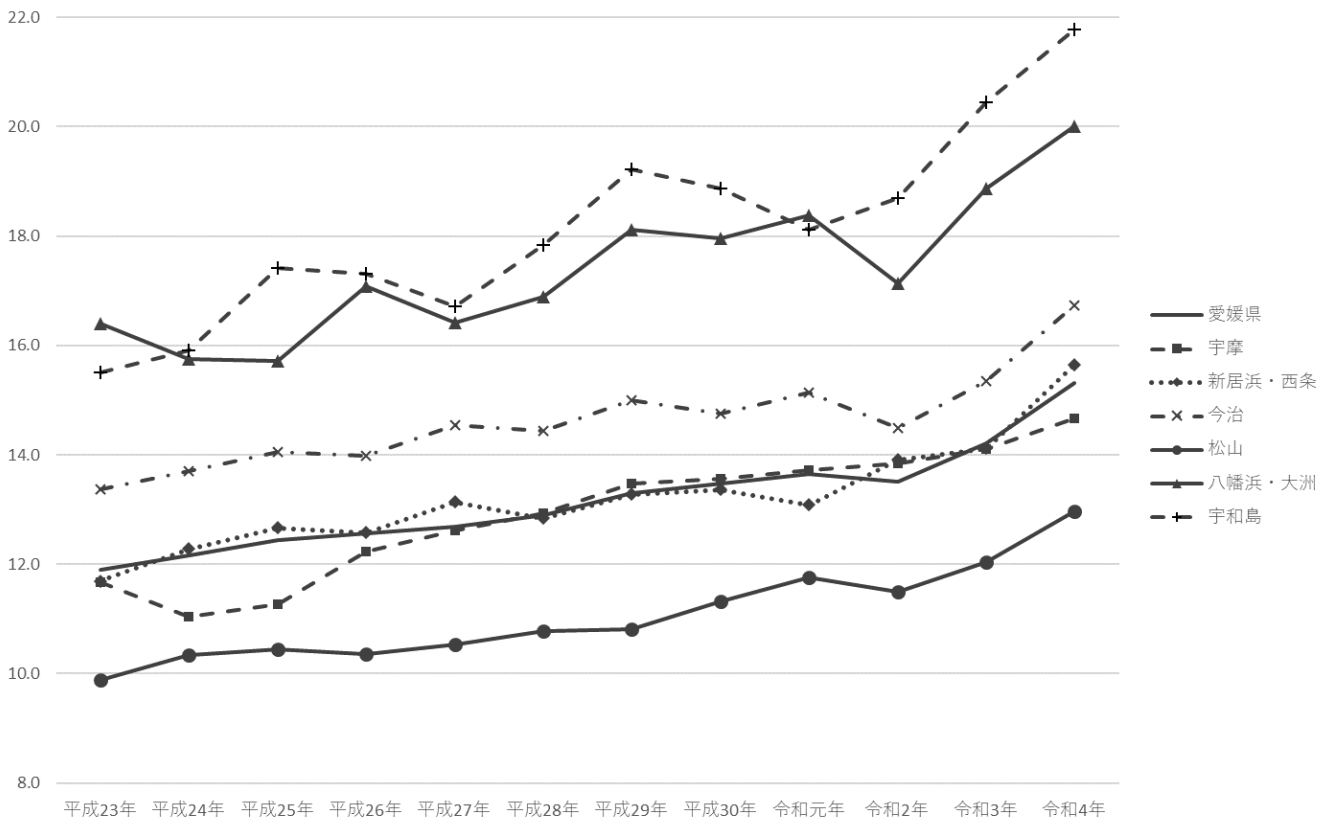
〔死亡率の年次推移〕

（単位：「死亡数」…人、「死亡率」…人口千対）

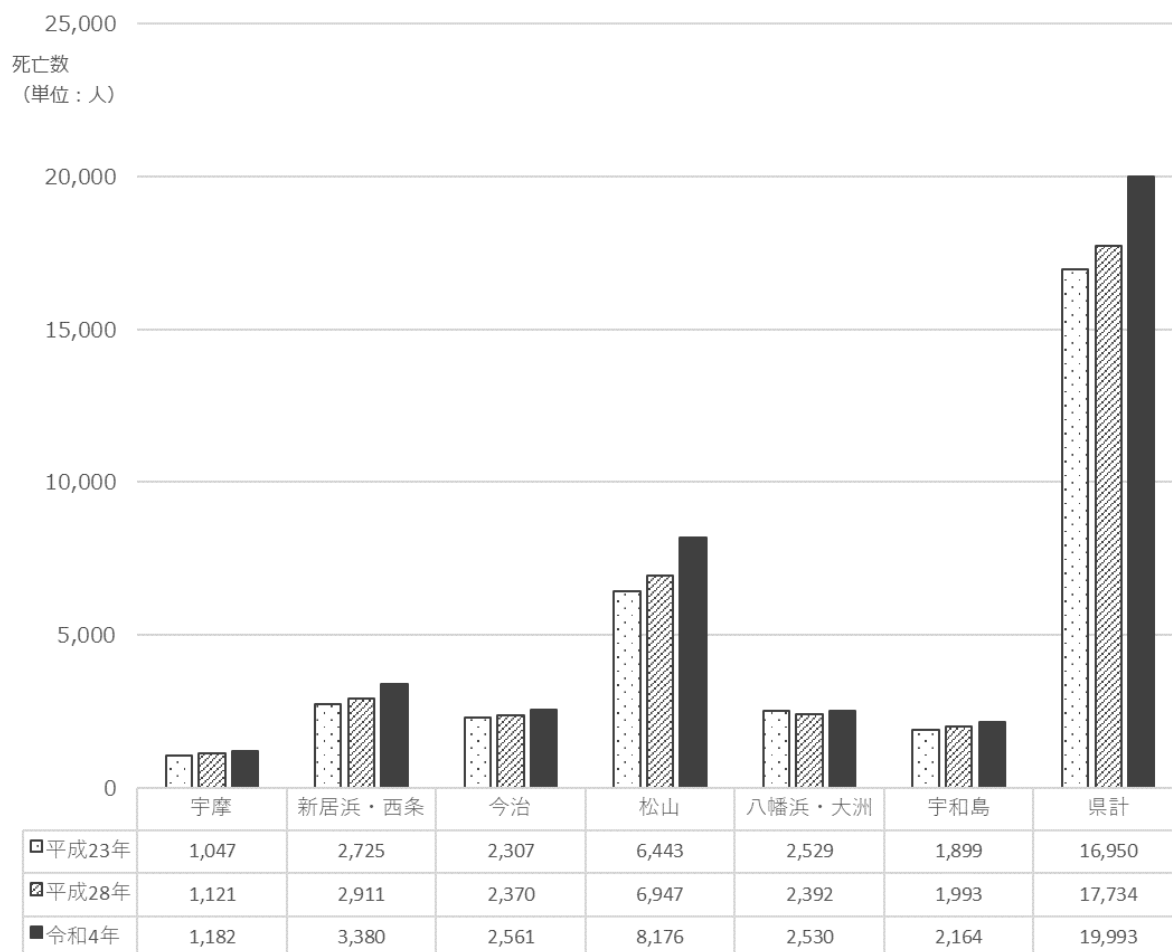
	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
死亡数	18,149		18,207		18,281		18,036		18,770		19,993	
(愛媛県)	9,015	9,134	8,936	9,271	8,913	9,368	8,787	9,249	9,252	9,518	9,703	10,290
死亡率	13.3		13.5		13.7		13.5		14.2		15.3	
(愛媛県)	14.0	12.7	14.0	13.0	14.1	13.3	13.9	13.2	14.8	13.7	15.7	15.0
死亡率	10.8		11.0		11.2		11.1		11.7		12.9	
(全国)	11.4	10.2	11.6	10.4	11.7	10.6	11.8	10.5	12.4	11.1	13.5	12.3

（人口動態調査）

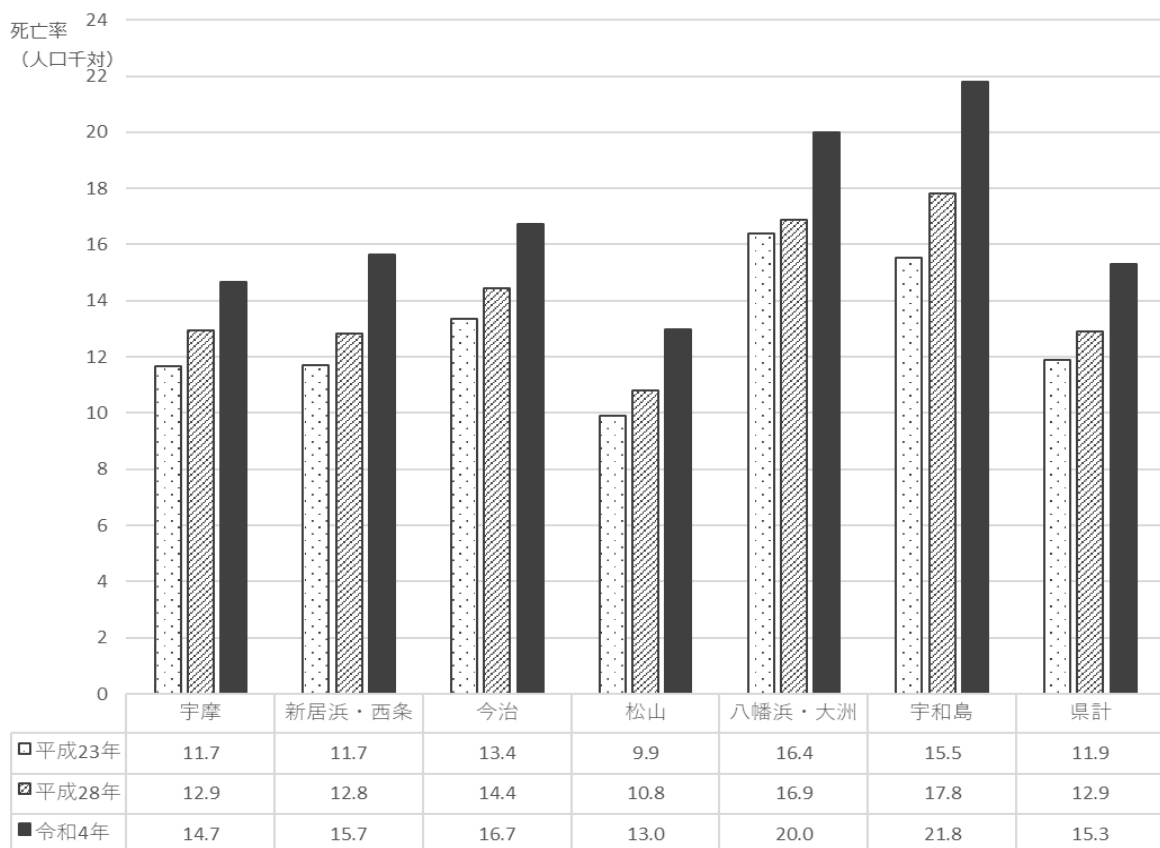
〔圏域別死亡率（人口千対）〕



〔圏域別死亡数〕



〔圏域別死亡率〕



- ・死因別の死亡数では、悪性新生物が 4,550 人で最も多く、心疾患 3,447 人、老衰 2,573 人、脳血管疾患 1,400 人、肺炎 992 人となっています。
- ・心疾患、脳血管疾患及び悪性新生物の標準化死亡比を見ると、県全体では心疾患及び男性の脳血管疾患、悪性新生物のうち「胃」「肝及び肝内胆管」で全国値を上回っています。

〔死亡数及び死亡率〕

(単位：「実数」…人、「死亡率」…人口 10 万対)

順位	死 因	実数 (愛媛)		死亡率 (愛媛)		死亡率 (全国)	
1	悪性新生物	総数 4,550		348.3		308.8	
		男性 2,563	女性 1,987	413.5	289.5	367.5	253.2
2	心疾患	3,447		263.9		186.5	
		1,667	1,780	268.9	259.4	186.0	186.9
3	老衰	2,573		197.0		143.7	
		672	1,901	108.4	277.0	82.2	201.8
4	脳血管疾患	1,400		107.2		86.0	
		651	749	105.0	109.1	87.5	84.6
5	肺炎	992		75.9		59.2	
		534	458	86.1	66.7	70.5	48.5

(令和 4 年人口動態調査)

〔標準化死亡比〕

圏 域	全 死 因		心疾患				脳血管疾患	
			心疾患総計		急性心筋梗塞			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
宇 摩	102.4	97.4	127.2	105.5	84.9	86.9	89.1	89.0
新居浜・西条	104.1	101.5	125.1	119.7	93.8	82.4	94.2	92.6
今 治	107.7	107.0	141.6	157.7	103.6	121.7	105.0	104.3
松山(松山市のみ)	100.7	97.5	112.7	99.6	62.1	63.9	102.6	96.8
松山(松山市以外)	100.3	98.3	118.6	122.2	58.5	49.4	92.9	95.1
八幡浜・大洲	102.1	101.9	121.8	115.3	77.7	73.3	109.4	106.5
宇和島	112.1	111.4	130.3	127.3	78.9	69.2	108.8	106.9
愛媛県	103.6	101.6	123.2	118.3	77.7	76.4	101.1	98.9

圏 域	悪 性 新 生 物									
	悪性新生物 総計		胃		大 腸		肝及び 肝内胆管		気管、気管支 及び肺	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
宇 摩	104.2	96.5	90.1	98.8	87.9	85.1	114.9	93.5	109.9	107.9
新居浜・西条	97.8	92.5	110.3	91.7	88.5	88.8	122.7	95.2	102.5	91.4
今 治	103.4	99.0	99.1	99.6	101.0	88.9	125.6	124.3	102.0	99.6
松山(松山市のみ)	98.0	96.3	93.3	108.1	85.7	88.1	139.3	123.2	97.4	94.9
松山(松山市以外)	97.5	88.2	100.2	102.7	74.5	75.4	162.9	135.8	92.7	78.6
八幡浜・大洲	94.7	88.3	107.4	108.7	90.7	72.8	91.6	78.9	99.2	85.0
宇和島	98.0	91.5	112.5	97.8	95.2	88.1	113.3	82.1	84.5	82.0
愛媛県	98.6	93.6	101.3	102.0	88.8	84.6	126.5	107.5	98.1	91.5

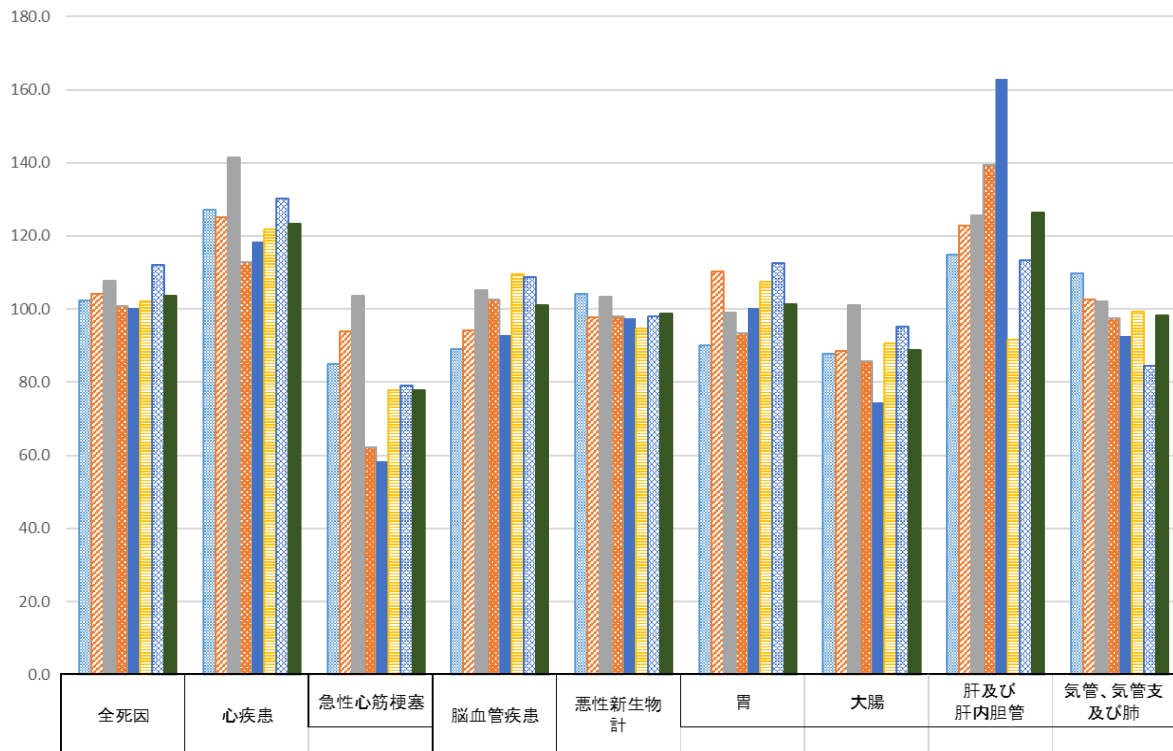
(平成 25～29 年人口動態保健所・市区町村別統計)

(標準化死亡率:基準死亡率を対象地域に当てはめて算出される期待死亡数と実際の死亡数との比で、
全国の平均を 100 とする。)

※統計データが保健所管轄地域で計算されているため、松山圏域については、松山市(松山市保健所)
と松山市以外(中予保健所)で計上

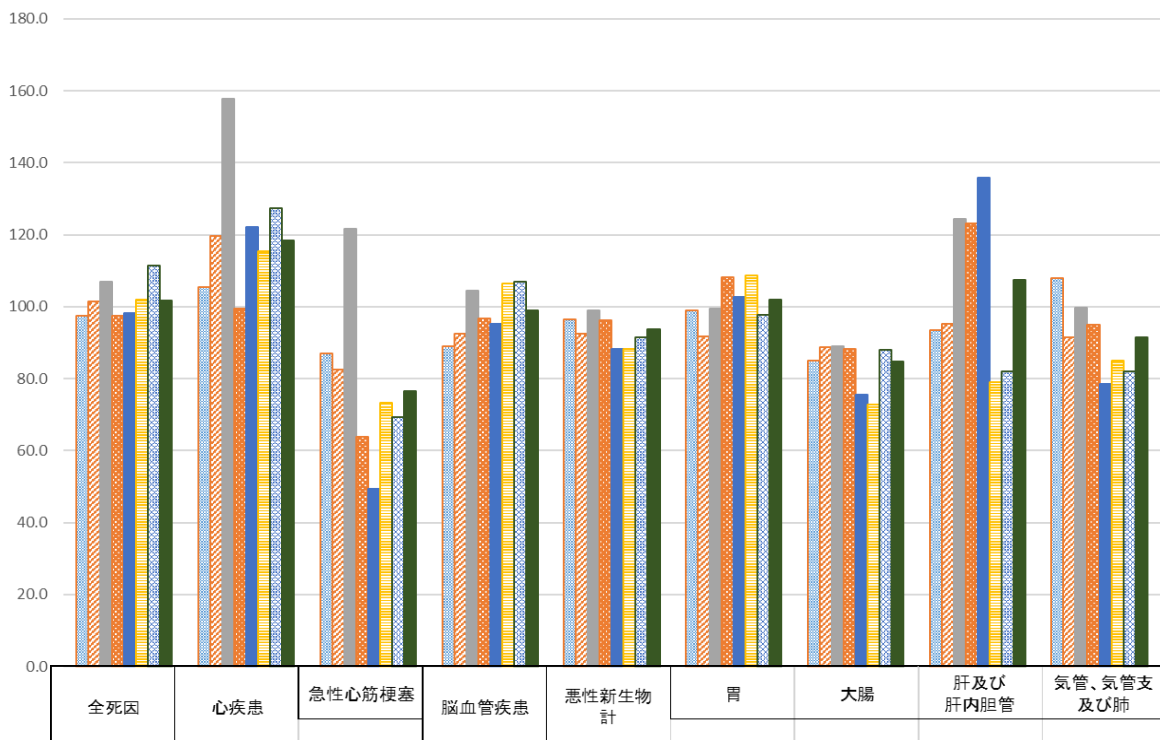
〔標準化死亡比（男性）〕

（平成 25～29 年）



〔標準化死亡比（女性）〕

（平成 25～29 年）



2 入院患者の状況

(1) 受療の状況

- ・令和2年の入院患者数は16,800人であり、前回調査（平成28年）と比べて1,772人の減となっています。
- ・入院受療率（人口10万人に対する患者数）は平成3年から減少が続いており、病院と診療所の入院患者構成比は、病院が95.2%（平成28年92.4%）、診療所が4.8%（同7.6%）で、病院の割合が高くなっています。

〔施設の種別別入院患者数・入院受療率〕

（単位：人口10万対）

		総数	病院		有床診療所	
			精神病院	一般病院		
入院 患者数	令和2年	16,800	16,000	3,300	12,700	800
	平成28年	18,572	17,156	3,297	13,859	1,416
	平成22年	21,529	19,452	3,738	19,072	2,077
	平成16年	23,510	20,948	3,844	17,104	2,562
	平成11年	24,373	21,418	3,235	18,183	2,955
	平成6年	25,157	21,615	4,714	16,901	3,542
	平成3年	26,341	21,845	3,752	18,093	4,496
	昭和55年	22,088	17,821	4,489	13,331	4,267
入院 受療率	令和2年	1,271	1,210	250	960	61
	平成28年	1,341	1,238	238	1,000	102
	平成22年	1,504	1,359	261	1,332	145
	平成16年	1,575	1,403	257	1,146	172
	平成11年	1,618	1,422	215	1,207	196
	平成6年	1,661	1,427	311	1,116	234
	平成3年	1,739	1,442	248	1,194	297
	昭和55年	1,466	1,183	298	885	283

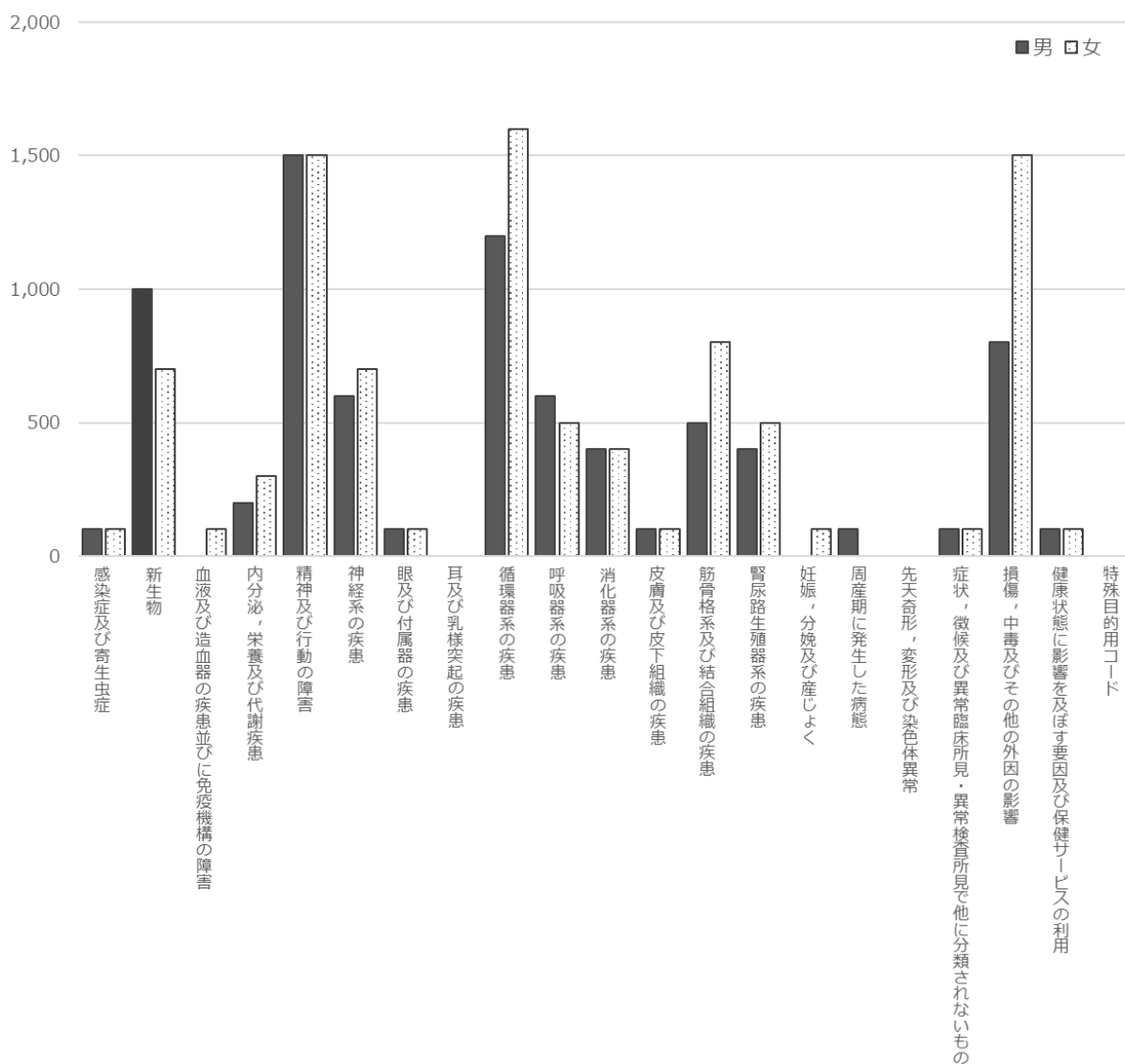
（昭和55年～28年愛媛県入院患者調査、令和2年患者調査）

※令和2年は推計入院患者数（施設所在地）を使用。

(2) 傷病の状況

- ・入院患者の傷病の構成を見ると、「新生物」、「呼吸器系の疾患」等は男性が多く、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」等は女性が多くなっています。
- ・入院患者数では「精神及び行動の障害」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「新生物」の順となっています。

〔性別傷病別入院患者数〕



〔傷病の種類別入院患者構成比（圏域別）〕

（単位：％）

傷病分類	県合計	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
感染症及び寄生虫症	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新生物＜腫瘍＞	9.9	9.1	9.7	9.1	11.3	9.5	7.1
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
内分泌、栄養及び代謝疾患	3.1	0.0	3.2	4.5	3.2	4.8	0.0
精神及び行動の障害	18.6	9.1	19.4	13.6	19.4	23.8	14.3
神経系の疾患	7.5	9.1	9.7	4.5	8.1	4.8	7.1
眼及び付属器の疾患	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耳及び乳様突起の疾患	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
循環器系の疾患	16.1	18.2	12.9	18.2	17.7	14.3	14.3
呼吸器系の疾患	6.8	9.1	6.5	9.1	4.8	4.8	7.1
消化器系の疾患	5.0	9.1	6.5	4.5	4.8	4.8	7.1
皮膚及び皮下組織の疾患	1.2	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	7.5	18.2	6.5	9.1	8.1	9.5	7.1
腎尿路生殖器系の疾患	5.0	9.1	3.2	4.5	4.8	4.8	7.1
妊娠、分娩及び産じょく	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
周産期に発生した病態	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
先天奇形、変形及び染色体異常	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.2	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
損傷、中毒及びその他の外因の影響	13.0	9.1	12.9	13.6	14.5	9.5	14.3
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1.2	-	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-

（令和2年患者調査）

※病院の推計入院患者数（患者住所地）を使用。

※出典元の推計患者数のデータが100人単位のため、50人未満のデータは0%となる。（各傷病分類の数値を合計しても100%にはならない。）

〔住所地（圏域）別・性別・入院患者数、入院受療率〕

（単位：「患者数」…人、「受療率」…人口10万対）

		入院患者数			入院受療率		
		総数	男	女	総数	男	女
総数	令和2年	16,100	7,400	8,800	1,206	1,169	1,254
	平成28年	18,572	8,099	10,473	1,341	1,238	1,433
	平成22年	21,529	9,469	12,029	1,504	1,406	1,587
	平成16年	23,510	10,545	12,934	1,575	1,497	1,640
宇摩	令和2年	1,100	500	600	1,329	1,236	1,419
	平成28年	1,145	483	662	1,310	1,134	1,477
	平成22年	1,304	523	781	1,446	1,198	1,679
	平成16年	1,455	664	791	1,543	1,453	1,626
新居浜・ 西条	令和2年	3,100	1,400	1,700	1,404	1,313	1,490
	平成28年	3,205	1,476	1,729	1,405	1,350	1,456
	平成22年	3,711	1,711	1,999	1,587	1,528	1,641
	平成16年	4,117	1,892	2,222	1,713	1,648	1,770
今治	令和2年	2,200	900	1,200	1,391	1,196	1,446
	平成28年	2,497	1,015	1,482	1,511	1,301	1,699
	平成22年	2,770	1,207	1,560	1,590	1,476	1,689
	平成16年	2,951	1,293	1,652	1,559	1,469	1,632
松山	令和2年	6,200	2,800	3,400	972	934	1,006
	平成28年	7,335	3,163	4,172	1,135	1,042	1,218
	平成22年	8,508	3,761	4,728	1,304	1,232	1,362
	平成16年	8,934	4,023	4,896	1,379	1,317	1,430
八幡浜・ 大洲	令和2年	2,100	1,000	1,100	1,595	1,603	1,587
	平成28年	2,376	1,061	1,315	1,646	1,561	1,722
	平成22年	2,888	1,242	1,643	1,845	1,695	1,973
	平成16年	3,109	1,392	1,716	1,742	1,662	1,811
宇和島	令和2年	1,400	700	700	1,349	1,441	1,269
	平成28年	1,687	761	926	1,478	1,436	1,514
	平成22年	1,998	874	1,119	1,608	1,524	1,672
	平成16年	2,401	1,067	1,330	1,680	1,603	1,741

（平成11年～28年愛媛県入院患者調査、令和2年患者調査）

※令和2年は推計入院患者数（患者住所地）を使用。

(3) 患者の圏域間流動の状況

- ・圏域別に地元入院率を見ると、宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域は比較的低く、松山圏域、宇和島圏域は高くなっています。特に松山圏域では98.0%以上が地元の圏域内で入院しています。

〔圏域別・地元入院率〕

(単位：%)

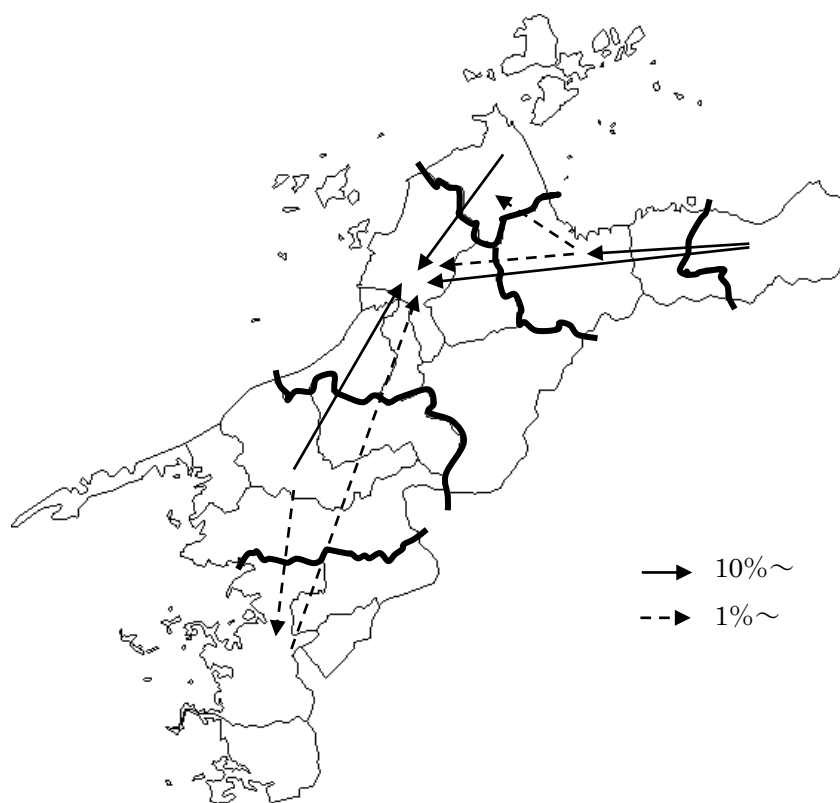
圏域名	平成11年	平成16年	平成22年	平成28年	令和2年
宇摩	81.3	79.7	79.6	81.7	75.0
新居浜・西条	90.1	90.0	86.5	85.8	83.9
今治	83.8	84.6	83.8	85.3	78.5
松山	98.5	98.6	98.9	99.0	98.0
八幡浜・大洲	79.9	80.2	77.6	76.8	74.6
宇和島	90.8	91.0	89.4	90.2	88.6

(平成11年～28年愛媛県入院患者調査、令和2年患者調査)

地元入院率＝患者現住所地（圏域）内の医療施設に入院している患者数

÷患者現住所地（圏域）別の入院患者数

〔入院患者の圏域間の動き〕



〔入院患者率、受療地・患者現住所別（圏域）〕

（単位：％）

受療地 現住所	宇 摩	新居浜 ・西条	今 治	松 山	八幡浜 ・大洲	宇和島
宇摩	80.0	10.0	-	10.0	-	-
新居浜・西条	0.0	83.9	3.2	9.7	0.0	0.0
今治	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	0.0
松山	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
八幡浜・大洲	0.0	0.0	0.0	19.0	76.2	4.8
宇和島	0.0	-	-	7.1	0.0	92.9
県外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
不定	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0

（令和2年患者調査）

※出典元の推計患者数のデータが100人単位のため、50人未満のデータは0%となる。

3 医療施設の状況

(1) 病院

①施設数

- ・令和4年10月1日現在の病院数は134施設で、平成28年(141施設)に比べると7施設減少しています。
- ・人口10万人当たりの病院数は10.3で、全国の6.5を上回っています。
- ・圏域別に見ると、今治圏域が18.3で最も多く、宇和島圏域、八幡浜・大洲圏域と続き、松山圏域が7.9で最も少なくなっています。

②病床数

- ・病床数は20,260床で、平成28年(22,099床)に比べると1,839床減少しています。
- ・人口10万人当たりの一般病床数は885.3床で、全国の709.6床を上回っています。
- ・一般病床の病床利用率を見ると64.2%で、全国に比べて低い割合となっています。
- ・圏域別に見ると、宇和島圏域が1,416.2床で最も多く、新居浜・西条圏域、松山圏域と続き、宇摩圏域が649.9床で最も少なくなっています。
- ・人口10万人当たりの精神病床数は、新居浜・西条圏域が454.2床で最も多く、今治圏域が224.0床で最も少なくなっています。

〔病院数及び病床数（圏域別）〕

(単位：「施設数」…施設、「病床数」…床)

	病 院						
	施設数	病床数					
		総 数	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般
宇 摩	8	1,185	334	4	-	323	524
新居浜・西条	21	3,611	981	4	3	660	1,963
今 治	28	2,164	343	4	-	564	1,253
松 山	50	9,238	1,859	8	20	1,932	5,419
八幡浜・大洲	15	2,097	527	4	8	561	997
宇 和 島	12	1,965	266	4	5	283	1,407
愛 媛 県	134	20,260	4,310	28	36	4,323	11,563

(令和4年医療施設調査(動態調査))

〔病院数及び病床数（圏域別）〕

（単位：人口 10 万対）

	病 院						
	施設数	病床数					
		総 数	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般
宇 摩	9.9	1,469.7	414.2	5.0	-	400.6	649.9
新居浜・西条	9.7	1,672.0	454.2	1.9	1.4	305.6	908.9
今 治	18.3	1,413.2	224.0	2.6	-	368.3	818.2
松 山	7.9	1,464.9	294.8	1.3	3.2	306.4	859.3
八幡浜・大洲	11.9	1,658.2	416.7	3.2	6.3	443.6	788.4
宇 和 島	12.1	1,977.8	267.7	4.0	5.0	284.8	1,416.2
愛 媛 県	10.3	1,551.1	330.0	2.1	2.8	331.0	885.3

（令和 4 年医療施設調査（動態調査））

〔病床利用率〕

（単位：％）

	総数	精神科 病院	一般病院							
			総数	療養病床及 び一般病床 のみの病院	その他の一般病院					
					総数	精神	感染症	結核	療養	一般
愛媛県	72.7	78.2	71.6	71.6	65.5	71.0	183.9	30.1	63.7	64.2
全 国	75.3	83.8	73.7	73.7	71.1	78.1	231.7	27.4	83.7	67.6

（令和 4 年病院報告）

※病床利用率＝{年間在院患者数÷（月間日数×月末病床数）の1月～12月の合計}×100

※在院患者数は許可（指定）病床数にかかわらず、毎日 24 時現在に在院している患者数をいう。このため、感染症病床の在院患者数には、緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は 100%を上回ることがある。

(2) 一般診療所

- ・令和 4 年 10 月 1 日現在の一般診療所数は、1,193 施設で、平成 28 年（1,252 施設）に比べると 59 施設減少しています。
- ・このうち有床診療所は 126 施設で、平成 28 年（187 施設）に比べて 61 施設減少しており、病床数も 1,010 床減少（平成 28 年 2,951 床）しています。
- ・人口 10 万人当たりの一般診療所数は 91.3 で、全国の 84.2 を上回っています。
- ・人口 10 万人当たりの病床数を圏域別に見ると、松山圏域が 188.7 床で最も多く、宇摩圏域が 65.7 床で最も少なくなっています。

〔一般診療所数及び病床数（圏域別）〕

(単位：「施設数」…施設、「病床数」…床)

	一 般 診 療 所			病床数
	施設数	有床	無床	
宇 摩	53	3	50	53
新居浜・西条	165	12	153	191
今 治	117	18	99	236
松 山	593	76	517	1,190
八幡浜・大洲	155	7	148	107
宇 和 島	110	10	100	164
愛 媛 県	1,193	126	1,067	1,941

(令和4年医療施設調査（動態調査）)

〔一般診療所数及び病床数（圏域別）〕

(単位：人口10万対)

	一 般 診 療 所			病床数
	施設数	有床	無床	
宇 摩	65.7	3.7	62.0	65.7
新居浜・西条	76.4	5.6	70.8	88.4
今 治	76.4	11.8	64.6	154.1
松 山	94.0	12.1	82.0	188.7
八幡浜・大洲	122.6	5.5	117.0	84.6
宇 和 島	110.7	10.1	100.7	165.1
愛 媛 県	91.3	9.6	81.7	148.6

(令和4年医療施設調査（動態調査）)

(3) 歯科診療所

- ・令和4年10月1日現在の歯科診療所は646施設で、平成28年（685施設）に比べて39施設減少しています。（令和4年医療施設調査（動態調査））
- ・人口10万人当たりの施設数は49.5で、全国の54.2を下回っています。（令和4年医療施設調査（動態調査））
- ・圏域別に見ると、今治圏域が54.9で最も多く、宇摩圏域が40.9で最も少なくなっています。（令和4年医療施設調査（動態調査））

(4) 薬局

- ・令和4年度末現在の薬局数は631施設で、平成28年度末（587施設）に比べて44施設増加しています。（県調べ）
- ・人口10万人当たりの施設数は48.3となっており、圏域別に見ると、60.9の八幡浜・大洲圏域が最も多く、43.1の新居浜・西条圏域が最も少なくなっています。（県調べ）